

令和6年度 事業計画書

I. 基本方針

障害者の権利擁護については、「障害者権利条約」の我が国における実施状況に対して、令和4年9月に総括所見（勧告）が公表されました。今後の障害者施策を左右する数多くの勧告に関して、今後どのように改善や向上が図られていくのか、注視していく必要があります。

また、能登半島地震により県内においても多くの方が被災し、障害のある本人や家族は、災害時などにおける孤立化や生活に不安を募らせています。

いつ、どのような環境にあっても、誰もが地域で安心して暮らせることが、私たちの願いです。

私たち育成会は、今後とも支えあって、「親から地域社会へのバトンタッチ」を目指す「松の木プロジェクト」や、「あんしんサポートノート」の活動を進めながら、本人の幸せと家族の安心につながる「地域共生社会」づくりにしっかりと取り組んでまいります。

II. 基本テーマ

地域で信頼関係を築きながら、自分らしく生きる地域共生社会をめざし、ともに手をつなごう

III. 事業活動 【別紙参照】

1. 施策推進活動

(1) 県大会・研修事業

- | | | | |
|---|----------------------|------------------|----------------|
| ① | 富山県育成会 総会 | 4月29日（月・祝日） | 県民会館 |
| ② | 富山県育成会 大会 | 6月30日（日） | 福野文化創造センターへリオス |
| ③ | 手をつなぐ育成会東海北陸大会（岐阜大会） | 9月28日（土） | 岐阜県羽島市 |
| ④ | 全国大会（秋田大会） | 10月12日（土）、13日（日） | 秋田県秋田市 |

(2) 啓発促進事業

- ① 県育成会「手をつなぐとやま」会報 年3回発行
- ② 全国手をつなぐ育成会連合会機関誌「手をつなぐ」の普及拡大
- ③ 育成会ホームページとフェイスブックからの情報提供

(3) 権利擁護の推進

- ① 富山県予算要望（継続）
- ② **権利擁護推進委員会活動** ～エリア・支部活動の充実～
 - ・学齢期支援プロジェクトの推進（親子イベントの開催と啓発活動）
 - ・松の木プロジェクトの推進（親亡き後対策と地域共生社会づくりの推進）
 - ・あんしんサポートノートづくりの推進
- ③ 市町村における「自立支援協議会」など障害福祉関係会議への参画

- ④ 富山障害フォーラムの活動（身体・知的・精神・聴覚・視覚・障連協の障害者6団体）
 - ・ 県条例の県民への周知啓発活動（街頭キャンペーン、フォーラムの開催）
 - ・ 差別禁止や合理的配慮の提供など権利擁護の推進
- (4) 保護事業 「愛のコミュニティバンク」（仲間どうしによる緊急一時預かり）の普及
- (5) 子育て支援・学齢期支援
 - ① **日常の悩みごと相談 ワークショップの開催**
 - ② **先輩会員から学ぶ、テーマ別の研修会の開催**
 - ② **あんしんサポートノート学習会**

2. 社会参加推進活動

- (1) 相談事業
 - ① 知的障害者相談員の研修（支部長との合同研修、サポート協会共催）
 - ② 3障害の相談員合同研修（身体、精神の相談員との合同研修・交流会）
 - ③ 障害者110番事業（3障害）
- (2) ふれあい育成スポーツ大会（4エリア）とスポーツ教室開催事業（6エリア）

3. 部会活動・エリア活動支援

- (1) 4部会（施設、事業所、学齢期、本人・本人活動推進）活動の推進
 - ・ **施設部会研修会**（施設長との意見交換会）
 - ・ **事業所部会の職員研修会**（事業所職員の資質向上）
 - ・ **本人部会の充実**（本人の社会的自立支援）
- (2) エリア、支部活動の推進
 - ・ エリア助成やサポート協会助成の活用、会報やHPを活用した情報提供

IV. 組織の活性化 【別紙参照】

- (1) **地域共生社会づくりの推進**（エリア・支部の育成会活動の充実）

障害のある人が地域で安心した生活を過ごせるよう、『松の木プロジェクト』冊子（3種類）と『あんしんサポートノート』を活用して、地域での理解啓発活動を進める。
- (2) 学齢期への働きかけ（小中学校長会や支援学校長懇談を通じて理解啓発に努める。）
- (3) 会員拡大（啓発）と活動財源の確保

V. 関係団体との協力支援

県知的障害者福祉協会	県特別支援学校長会
県特別支援学校知的障害教育校長会	県特別支援教育研究会
県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会	県障害者スポーツ協会 など